

技術委員会報告

『 JFAトレセン山口の活動 ～ 第4日曜はトレセンデー ～ 』

昨年度、その名称を「JFAトレセン山口」と変えました。現在は、より質の高い指導を提供できるようにその形を変えつつあります。

その変化の一環として、「複数トレセンの共同開催」を今回行いました。2月25日(日)、県立おのだサッカー交流公園で行われたトレーニングには、JFAトレセン山口U14と15、そして女子U14の3カテゴリーが集まりました。また、15時から、第1種(社会人・大学選手)の国体選抜候補選手による練習会も行われました。



男子のU14と15のトレーニングでは、今後の中国トレセンリーグに向けたトレーニングマッチを主に実施しました。U15は3月から後期のトレセンリーグが始まります。その選考ということで、中学校卒業を控えてはいますが、チーム内のコミュニケーションもよく、U14相手に前線からプレッシャーをかけボールを奪い得点に結びつけます。U14は、午前中こそプレッシャーに耐えることができずに失点を繰り返しましたが、午後に入り、チーム全体で戦う姿勢を見せ始め、対抗する姿を多く見る事ができました。



女子U14は、天然芝ピッチでトレーニングを行いました。主に基本の動きに時間をかけ、常に攻守に準備することの大切さ、1st DFのボールを奪う意識について共有することなどに取り組んでいました。またトレセン活動終了後は、成年国体選抜の選考を兼ねた練習会が行われ、かつての山口トレセンを経て、大学生・社会人になった選手たちが、県代表選手として頑張ろうとする姿を多く見る事ができました。

今回試みた複数トレセンの共同開催を実施していくことで、

- (1) 選手の「飛び級」への対応
- (2) GKプロジェクトとの協働
- (3) ナショナルトレセンコーチとの連携
- (4) 指導者同士の交流や情報交換
- (5) 指導者養成との協働

など、さまざまなメリットも創出されます。また、今後はトレセンデーに合わせて、「C級コーチ養成講習会」を同一会場で開催し、トレセンコーチが資格を取得しやすい環境を作るにも取り組むことを考えています。

そして、毎月第4日曜はここに来れば、山口県の各年代のトップ選手が活動し、指導者もたくさん刺激が受けられる、という機会を作っていきたいと考えています。



【文責 技術委員長】